

令和4年9月16日 道の駅 朝霧高原 支配人 吉里 正臣

お話する内容

- 1. 道の駅朝霧高原について
- 2. 防災の取り組み
- 3. 減災の取り組み
- 4. 今後の展望

自己紹介

○ 氏名:吉里 正臣(よしざと まさおみ)

○ 出身:富士市

○ おもな経歴:

- 大学卒業後、東京で日本骨髄バンクの広報やプロバスケットボールリーグの試合動画配信のプロデュースなどを経験
- 約10年前に帰静、富士山こどもの国の企画販促、道の駅伊豆ゲートウェイ函南の 運営や函南町観光協会の理事、沼津御用 邸記念公園の管理を経験
- 昨年6月道の駅朝霧高原の支配人に着任



道の駅朝霧高原について

「富士宮の北の玄関口を担う」責任感を胸に

道の駅 朝霧高原

オープン 平成12年3月27日

所 在 地 富士宮市根原492-14

敷地面積 約36,000㎡

事業主体 国土交通省および富士宮市

運営責任者 株式会社富士山

施設内容

地域振興施設:売店/食堂/アイス工房

駐車場:80台、二輪24台

トイレ:34基(うち多目的2) サイロ型時計台、富士山展望台

今上天皇在位10周年記念樹



運営責任者 株式会社 富士山

市内の企業50社が加盟 する協同組合富士山特 産品振興会の出資によ り設立



運営責任者 株式会社 富士山

あさぎりフードパーク 内「ビュッフェレスト ランふじさん」も運営





特產品

朝霧高原乳製品

朝霧の大自然が育んだ自然の味



特產品

てづくりハム ソーセージ ベーコン





人気商品

あさぎり 牛乳 ソフト (400円)



人気商品

いちご アイス (450円)





人気メニュー

朝霧 ヨーグル 豚の肉丼 (750円)



人気メニュー

朝霧 サーモン フライ 定食 (1,150円)



人気メニュー

富士宮 やきそば (600円)



防災の取り組み

BCP(事業継続計画)と防災訓練

"防災"

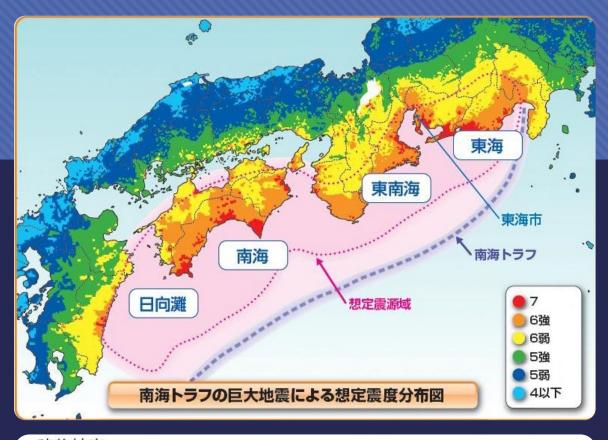
- 〇災害による被害を<u>できるだけゼロに近づける</u>
- "被災から復旧まで" (災害対策基本法第2条2項)

BCP

防災訓練

想定ハザード

静岡県で「第 4 次地震被害想定」において想定災害に設定されている。南海トラフ地震をリスクとして「震度 5 弱」を想定



建物被害一			
<全壊・焼失棟数>※冬・夕		<半壊棟数>※冬・夕	
揺れ	約1,200棟	揺れ	約5,900棟
液状化	約10棟	液状化	約40棟
人工造成地	-棟	人工造成地	一棟
津波	-棟	津波	-棟
山・崖崩れ	約60棟	山・崖崩れ	約100棟
火災	約90棟		
合 計	約1,400棟	合 計	約6,100棟

運用体制

消防・警察・病院

社会インフラ

電気

ガス

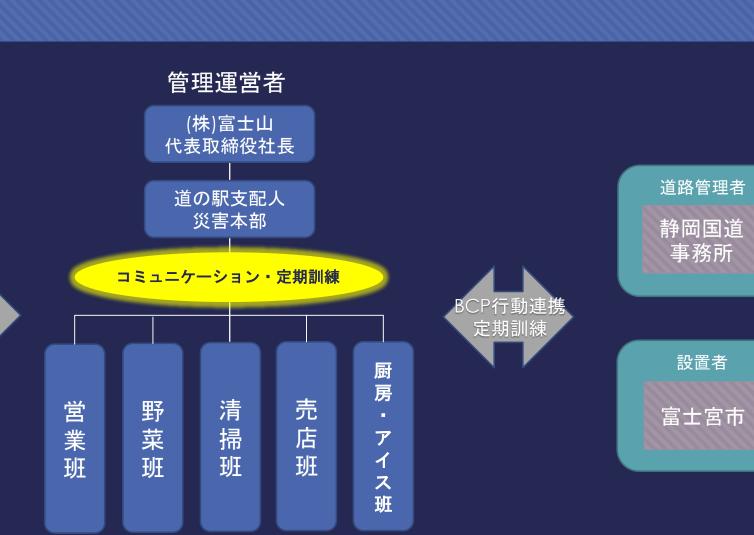
支援連携

定期訓練

水道

通信

取引会社 (食材・土産等)





備品







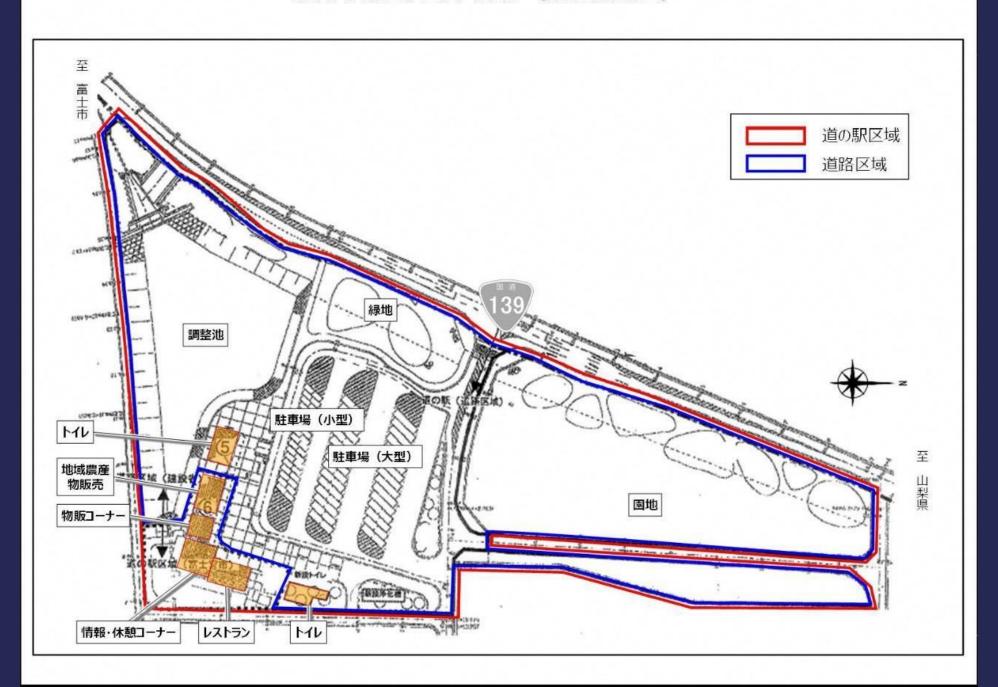


ヘルメット 消火器 AED

初期の被害チェックリスト

初期の被害チェックリスト 令和 日() 時 年 月 災害木部 厨房・アイス班 売店班 清掃班 野菜班 営業班 被害 分担 氏名 確認·点検項目 被害概要 有 無 ・出勤者 名) うち、安否未確認(名) ●従業員 厨房·アイス班 ·非出勤者 名) うち、安否未確認(名) 売店班 ・うち、負傷者 ((負傷箇所:) (応急処置:□未 □済) (救急車要請:□未 □済) (負傷箇所:) (応急処置:□未 □済) (救急車要請:□未 □済) 清掃班 (負傷箇所: (応急処置: □未 □済) (救急車要請: □未 _済) 野菜班 ・その他状況 営業班 厨房・アハ班 来訪客他 ·来訪客 (約 名) うち、負傷者(名) (負傷箇所: (応急処置:□未 □済) (救急車要請:□未 □済) 売店班 (救急車要請: □未 □済) (負傷箇所: (応急処置: □未 □済) 清掃班 (負傷箇所: (応急処置:□未 □済) (救急車要請:□未 □済) 野菜班 ・その他状況 営業班 □建物全体(倒壊・傾斜) □屋根・天井(破損・ひび割れ) □壁面(破損・ひび割れ) □扉・窓(破損・開閉不可) 建物点検 担当エリア □その他状況(※発災直後は、トイレ使用を一旦、使用禁止にすること(2次的被害防止) ●トイレ利用禁止 清掃班 □便器使用不可 (便器損壊、通水不良)【男: 基 女: 基] ●トイレ利用可否 □洗面台使用不可(便器損壊、通水不良)【男: 基 女: 基】 □その他状況(□陥没・ひび割れ(具体箇所: 道路照明等(具体箇所: ●駐車場 清掃班 □その他状況(□地域振興施設停電 □レストラン停電 □トイレ停電 □駐車場停電(情報提供装置含む) □備蓄倉庫停電 ●電気 担当エリア □その他状況(※発災直後は、ガスの元栓を閉鎖すること(2次的被害防止) ●ガス元栓閉鎖 厨房・アイス班 □ガス漏れ(具体場所:) □ガス供給停止(具体場所: ●ガス供給有無 □その他状況(□断水(具体個所:) □漏水(具体個所: 厨房·アイス班 ●上水道 清掃班 □その他状況(□固定電話不通 □携帯電話不通 □公衆電話不通 ●通信 営業班 □その他状況(

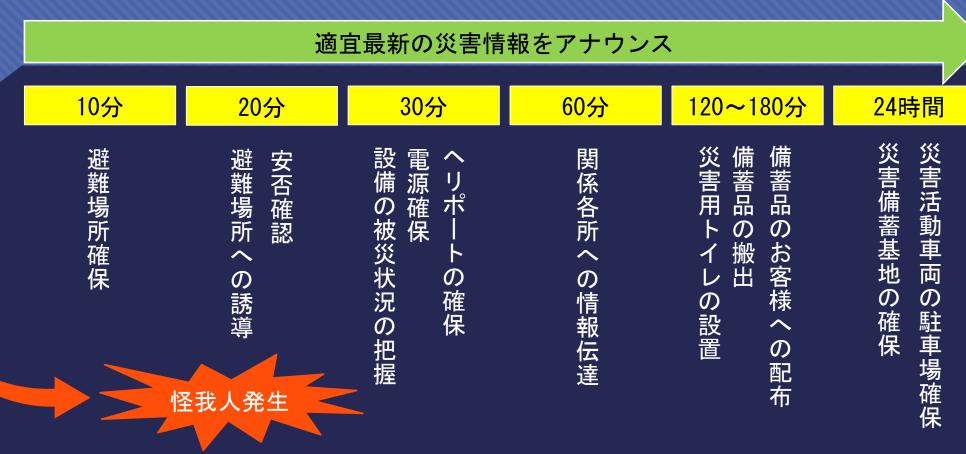
初期の被害チェックリスト (状況記録図)



基本的な考え方と重要業務

- 1. 生命の安全確保と安否確認利用者・従業員の安否確認→負傷者の救命→避難場所の確保誘導→防災用備蓄の搬出・避難者への配布
- 二次被害の防止
 設備の被災状況の確認→必要に応じて消火活動
- 対外的な情報の発信および共有
 関係各所への情報伝達→周囲への情報提供
- 4. 防災拠点としての機能開始 非常用トイレ・非常用発電機の起動→災害支援スペースの確保
- 5. 一時避難場所としての機能開始

重要業務のタイムリミット



災害発生

応急処置10分以内、救急連絡1分以内

火災発生

消火活動5分以内

防災訓練① 概要

- ○主旨目的
 - ●年に2回開催
 - ●原則として静岡国道事務所・富士宮市および管理運営者である道の駅を中心に静岡県災害対策本部、富士宮警察署が連携して行う
 - ●避難者はもちろん"施設運営者を含めた避難"を前提としている
- ○想定ハザード
 - ●南海トラフ地震(震度5弱)、富士山噴火



担架で怪我人を搬送



厨房・アイス班による消火活動



防災備蓄倉庫から身障者用トイレを搬出



防災訓練 トイレ用マンホ<u>ール</u>



災害用トイレは身障者用も含め全部で26基



防災訓練 身障者用トイレ設置完了

減災の取り組み

設備・協定

"減災"

- ○災害による<u>被害を最小限に抑える</u>
 - →災害は防ぎきれぬもので、ある程度は被害を被る ものと考え、可能な限り人的・物的被害を抑えるこ とを目指す

防災設備

災害協定

機能・設備

- ○トイレ・駐車場・情報提供施設のほか、給水施設・災害時対応 トイレ・ヘリポート・資機材置場を整備
 - ▶トイレ・駐車場・情報提供施設・給水施設は24時間の無停電化に対応
- ○停電になった際、人的操作で自販機内の商品を搬出でき、概ね50mの範囲で利用できるフリーWi-fi搭載の自動販売機
- ○広域災害応急対策の拠点となる「防災拠点自動車駐車場」



連携

- ○県下の道の駅で唯一BCP(事業継続計画)策定済み (平成3年6月現在)
- ○富士宮市と災害時応援協定
- ○隣接する富士教育訓練センターと、センターの宿泊施設を道路 利用者の一時避難場所とする協定
- ○平成3年6月、静岡県内で唯一の「防災道の駅」として選定

今後の展望と課題

- 1. 防災道の駅として
 - 現在国土交通省・県・市・道の駅の4者で協議を重ねている
 - BCPのブラッシュアップ
- 2. さらなる観光目的地化
 - あさぎりフードパークとの連携強化
 - 特産品や産直野菜市場の拡充(本年度)
- 3. SDGsへの取り組み

ご清聴ありがとうございました!